

CONTENTS

グループの概要 2

編集方針 3

対談 セブン&アイグループのCSRを考える 4

セブン&アイHLDGS.のCSR経営 8

重点項目

企業統治・CSRマネジメントの強化 12

- コーポレートガバナンス
- 株主・投資家の皆様とのコミュニケーション
- CSRマネジメント
- コンプライアンス
- サプライチェーンマネジメント
- 公正取引の徹底

特集 地球温暖化・生物多様性への対応 18

インドネシアでのREDDのための熱帯林保全活動報告

重点項目

環境負荷の低減 22

重点項目

安全・安心な商品とサービスの提供 32

重点項目

地域社会との共生 44

重点項目

働きがいのある職場づくり 56

海外での取り組み 66

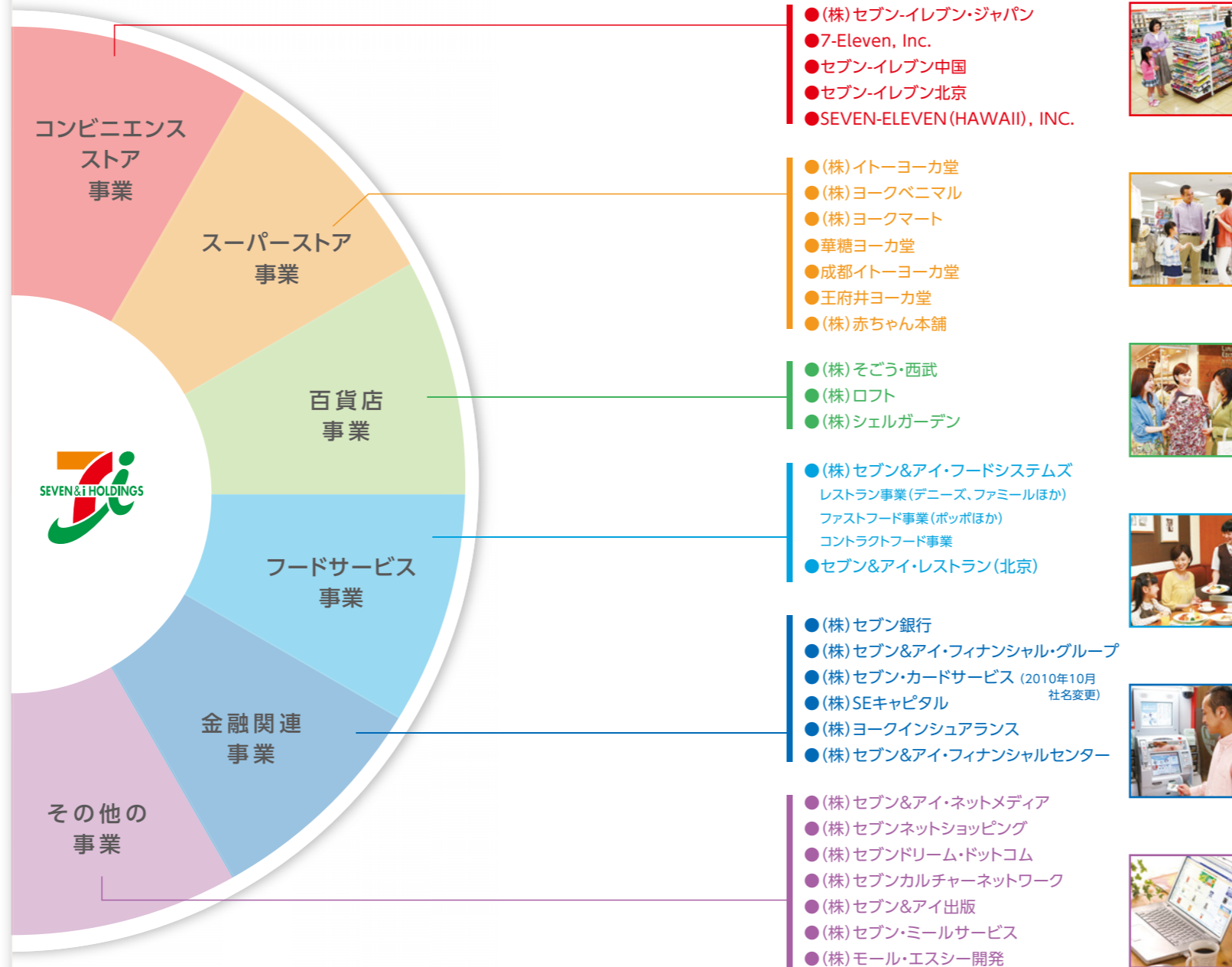
データ集 73

レポート総括／編集後記 93

グループの概要

便利で楽しい、豊かな暮らしをお届けする

「新・総合生活産業」セブン&アイHLDGS.



※ 上記の分類は、財務上の事業セグメントに基づいています。

会社概要 (2010年2月末現在)

社名 (株)セブン&アイ・ホールディングス
 本部所在地 〒102-8452 東京都千代田区二番町8番地8
 設立 2005(平成17)年9月1日 東証第一部上場
 事業内容 コンビニエンスストア・総合スーパー・百貨店・食品スーパー・
 フードサービス・金融サービス・IT/サービスなど、各事業を中心
 とした企業グループの企画・管理・運営(純粋持株会社)

資本金 500億円
 連結従業員数 139,263人 ※パートタイマー(1日8時間換算による月平均人員)を含む
 2010年2月期連結経営成績 営業収益 5兆1,112億円
 営業利益 2,266億円
 経常利益 2,269億円
 当期純利益 448億円

【免責事項】本報告書には、(株)セブン&アイ・ホールディングスとその事業会社の過去と現在の事実だけでなく、社会情勢に関する予想、経営企画・経営方針とその結果への予測が含まれています。これらの予想・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の社会情勢や事業活動の結果が予想・予測とは異なったものとなる可能性があります。

編集方針

セブン&アイHLDGS.は、ステークホルダーの皆様との対話をより深めるための重要なツールの一つとして「CSRレポート」を発行しています。

多様なステークホルダーの関心にお応えするために、編集にあたって今年度は以下の特徴を採り入れました。

- 「セブン&アイグループのCSRを考える」をテーマにグループ代表の対談を設けるとともに、「セブン&アイHLDGS.のCSR経営」について報告しています。
- 昨年のレポート作成過程で整理・分類しましたセブン&アイHLDGS.が取り組むべき重要課題に沿って章を設けています。
- 事業分野の特徴をふまえ、重要性の高い取り組みについて報告しています。
- グループ全体の取り組み概要と各事業分野別の取り組みとの両方を把握できるよう、取り組み一覧表を掲載しています。
- 報告内容についての客観的な評価、さらに今後の取り組みやレポート作成の参考とするため、章ごとに関連する有識者からご意見をいただいています。
- 各事業会社別の経営・環境・人事に関連した数値情報は、後半のデータ集にまとめて報告しています。

報告対象期間

2009年度(2009年3月～2010年2月)の活動報告を基本に、2010年度の活動についても一部含めています。

報告対象組織

(株)セブン&アイ・ホールディングス、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)イトーヨーカ堂、(株)ヨークベニマル、(株)そごう・西武、(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)セブン銀行のほか、7-Eleven, Inc.、華糖ヨーカ堂、成都イトーヨーカ堂、王府井ヨーカ堂、セブン-イレブン北京などの一部関係会社についても報告しています。

参考にしたガイドライン

- 環境省「環境報告ガイドライン～持続可能な社会をめざして～(2007年版)」
- GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン」第3版(G3)
- (財)日本規格協会「ISO/DIS 26000仮訳版」

他のディスクロージャー誌との関係

各事業会社の詳細なCSR関連情報については、各事業会社のWebサイトや発行物をご覧ください。また詳細な財務関連情報については、年1回発行する株主・投資家向け「年次報告書(Annual Report)」や、直近の企業情報については年4回発行する「四季報」をご覧ください。

発行日について

今回の発行 2010年9月
 次回発行予定 2011年9月